

## 愛媛県議会報告書

第375回(令和3年6月)定例会

**全身全霊を傾けて、常に全力投球!**  
**一人でも多くの県民に幸せな日常を**



愛媛県議会議員(松山市・上浮穴郡 3期)

Nobuhide Kikuchi

# まきくち伸英 のぶひで



幸福度指標の在り方

わいせつ教員への厳正な対応

愛媛県障がい者福祉計画等の改善

電話リレーサービス普及に向けた取組み

メディアリテラシー教育の推進

令和3年6月

QUESTIONS

## 一般質問

Q = 菊池伸英の質問  
A = 県の答弁(抜粋)

愛媛県が

## 「幸福度ランキング」5位に!

さらなる県民の幸福を  
追求するための取組みは

**Q** 愛媛県らしい幸福度について、どのような視点・指標で測定しているのか。また具体的にどのような施策を行うのか。コロナ禍において疲弊する県民をサポートし、真の意味での「愛のくに 笑顔あふれる愛媛県」を目指すための方法は。

**A** 県では、県民の誰もが将来も安心して暮らせる、「愛のくに 笑顔あふれる愛媛県」を実現することが、県民の愛媛ならではの幸せの実感につながると考える。これを実現するため、県市町計画の第3期アクションプログラムに55の施策を掲げ、施策ごとに設定した211の生活仕様によって取組みの効果や進捗を検証している。併せてPDCAサイクルの一環として、毎年度

県民ニーズ調査を実施し、各施策の取組みに対する満足度等を把握している。

施策に関しては、第3期アクションプログラムに基づき、毎年度、産業、暮らし、人づくり、環境の4つの基本政策ごとに、特に重点的に取り組む施策分野を重点戦略方針として取りまとめ、県民の暮らしや生活の質、企業の事業活動が良くなるよう選択と集中によるメリハリの利いた施策を展開。また、先般アクションプログラムを改訂し、新型コロナウイルス感染症への対応、DXの推進、SDGSとの連携について盛り込んだ。今後も新たな課題や時代のニーズに迅速且つ的確に対処し、「愛のくに 笑顔あふれる愛媛県」の実現に繋がる実効性の高い施策推進をする。

(河瀬企画振興部長)



【菊池の所見】ダイヤモンド・セレクトにより都道府県幸福度ランキングにおいて愛媛県は5位に躍進した。大変良い結果ではあるが、施策の効果について、今後もつぶさに検証していく姿勢が大事と考える。引き続き、必要な提言をしていきたい。



愛媛県議会議員(松山市・上浮穴郡 3期)

## のぶひで 菊池伸英

昭和39年(1964年)10月13日生(56才)  
愛媛県議会 観光スポーツ文教警察委員  
少子高齢化・人口減少対策特別委員  
会派:無所属 所属政党:自由民主党



## まきくち伸英事務所

〒790-0038 松山市和泉北1丁目1-14 1F  
TEL(089)934-3355 FAX(089)934-6655  
HP <https://www.kikuchinobuhide.com>  
MAIL [info@kikuchinobuhide.com](mailto:info@kikuchinobuhide.com)

「GRAVITAS」はラテン語で「生真面目さ」の意味。  
真っ直ぐに政道を歩んでいく菊池伸英の姿勢を表した言葉です。



未来を担う子どもたちの  
健やかな成長のために!

## わいせつ教員対策新法に合わせた どのような対策を講じるのか。



**Q** 私は、「児童・生徒のいる教室にわいせつ教員を戻してはならない」と訴えてきた。子どもたちが安心して学べる環境の確保のために「わいせつ教員対策新法」に則って、愛媛県はどのような施策を講じ、事業を進めていくのか。

**A** 本県では教員啓発のための研修、児童生徒を対象とした定期調査や個別相談、わいせつ行為を行った教員の懲戒免職処分などを実施している。今後は国が策定予定の基本方針を踏まえ、必要に応じ取り組みを強化し、免許に係る規定も厳正に対応する。



また、現在小中学校区ごとに学校、PTA、警察、公民館等の関係機関が連携し、児童生徒を守り育てる協議会、高校生年代を対象とした郊外補導連絡協議会を定期的に開催。児童生徒を取り巻く様々な問題の未然防止や早期発見、課題解決などに組織的に取り組んでいる。今後もこれらの組織がその機能を担い、的確な対策や見守りを行う。国が定める基本指針等を踏まえ、必要に応じ協議会の構成員の補充も検討するなど関係機関等の相互連携を一層強化し、児童生徒の安全安心を確保する。

(田所教育長)

[菊池の所見] えひめ性暴力被害者支援センター「ひめここ」への相談件数は年々増加している。健全であるはずの学校現場において、わいせつ教員対策新法にふれるような事象が多く発生しているのではないかと懸念しており、より積極的な早期発見へ向けた取り組みが不可欠だ。

マスク着用による

## 聴覚障がい者の暮らしに さまざまな困難が!



電話リレーサービスの現状と  
サービス普及に向けた取り組みは

**Q** コロナ禍において、マスク着用やソーシャルディスタンスの確保により、聴覚障がい者や通院に同行する手話通訳者の方の暮らしに少なからず支障が出ている。2020年6月に聴覚障がい者等による電話の利用の円滑化に関する法律が成立したが、その現状とサービス普及のための取り組みはどうなっているのか。また、手話通訳者の確保と人材育成にどう取り組んでいくのか。

**A** 7月1日から全国を対象に公共インフラとして開始される電話リレーサービスは、6月1日から聴覚障がい者等の事前登録が行われている。県ではこのサービスが広く県民に認知され、多くの方が利用できるよう周知広報を行っているところである。また、このサービス



に必要な手話通訳者等の確保と人材育成は、国の指定機関が行うこととなっている。県内の派遣事業等で必要となる手話通訳者等は、第5次県障がい者計画に基づき、県及び市町で計画的に要請をしている。

(菅保健福祉部長)

[菊池の所見] 現状の電話リレーサービスの周知広報が、果たして十分であるのか。その点についてはしっかりと精査を行いたいところである。同様に手話通訳者の確保と人材育成について、具体的な動きが見えづらい状況にある。一刻も早く、聴覚障がい者の方が安心して生活できるように迅速かつ積極的な取り組みを進めるべきであると考えている。

まだまだ伸び代がある!

## 障がい福祉計画・ 障がい児福祉計画について 目標値達成の具体的な方策を聞きたい



**Q** 本年4月から始まった第6期県障がい福祉計画及び第2期県障がい児福祉計画には、国が定める目標値を下回っている事業もある。第5期障がい福祉計画の事業評価を見ると、伸びしろが見受けられるため第6次県障がい者計画策定の布石とするために成果指標の達成率などの検証を行うべきではないか。

**A** 県が策定する障がい福祉計画等は、国の基本指針に則し、数値目標を定めるものだ。本年3月に策定した計画では、より実効性のあるものとするため、全計画の各数値目標の実績や評価を踏まえて設定した。進捗が遅れている項目も施設入所者や地域生活に必要なサービスの状況など、地域の実情やニーズを把握している市町と十分協議し、地域生活への移行率や一般就労への移行者数などの目標値を設定した。障がい者の地域移行などの目標値の達成に向けては障がい者の重度化、高齢化に対応する必要があることから、地域の受け皿となる日中サービス支援型グループホームの整備補助、相談支援専門員への研修や県障がい者自立支援協議会における点検評価、各市町協議会への助言など、サービスの提供自体となる市町をしっかり支援したい。



(中村知事)

[菊池の所見] これまでの実績を踏まえた上で、次年度以降、それぞれの施策において、事業低迷の分析や国の計画とのすり合わせが必要。今後、目標値に対してどのような方法で達成率を上げていくのかについては、さらなる努力が必要であると考えている。

## インターネットによる 子どもたちへの影響を懸念!



えひめっこ情報リテラシーアプリを  
どう活用していくのか、また現状は

**Q** インターネットの普及は、便利さとともにさまざまな問題も生み出している。特に小中学校におけるメディアリテラシー政策の在り方はとても重要だ。運用を開始したえひめっこ情報リテラシーアプリの内容や目的、活用に向けた考え方を聞きたい。

**A** このアプリは、児童生徒が情報リテラシーを能動的に学び、質、能力を向上させることを目的としている。その内容はネットトラブルへの対処方法や情報の見極め方を疑似体験を通じて学ぶ「メディアリテラシー検定アプリ」、情報を取捨選択して課題解決する力をクイズで養う「情報活用能力育成アプリ」の2本柱で構成している。目標としては、本アプリを授業等で活用した小中学校の割合100%やネットトラブルに合っていない児童生徒の割合85%などを指標案としている。本年3月に策定したICT教育推進ガイドラインでは、メディアリテラシーも含め、ICTの活用に必要な様々なスキルについて、児童生徒の発達段階に応じた具体的な到達目標を細かく設定しており、今後全ての公立小学校の2年、4年、6年生と中学校3年生を対象とする達成度調査を毎年度実施・検証を行うことを予定している。



(田所教育長)

[菊池の所見] インターネットやソーシャルメディアを温床としたさまざまな社会問題は深刻である。特に子どもたちにおいては、玉石混交の情報から必要なものを取捨できるスキルは必要不可欠。えひめっこ情報リテラシーアプリが、子どもたちを守るための一手段となることを期待したい。